

平成30年度 特別支援教育研修会開催



子どもの心の理解と
関わり方
～ 学級経営の実際を通して ～
上山中学校 教諭 福永 かわり 氏



「伊平屋村特別支援教育研修会」が去
る五月十五日(水)、伊平屋村離島振興総
合センター大ホールにて開催されました。
演題は「子どもの心の理解と関わり方」
学級経営の実際を通して。です。
幼児・児童・生徒の理解につながる「特
別支援教育研修会」も「島発ち教育」に
つながら大変重要な研修会として位置づ
け毎年実施しています。以前は「教職員
研修会」でしたが、三年前より広く保護員
者・地域の方々等をも対象とした研修会
として位置づけました。
参加者は、教職員、村民、村教育委員

職員計五十六名でした。福永かおり氏のご講演は、「学級経営で意識していること」
— 知的・情緒学級における具体的な取組 — 「評価の仕方」 — 「組
織としての成果と課題」等々でした。
学校全体で特別支援教育そのものを子ども達や社会で自立
する行われ一人一人が感じられ、きめ細かな計画・見直しを
持つて行われ一人一人が感じられ、きめ細かな計画・見直しを
寄せていただくことが大切で、困り感に
態を細かく把握し、記録し、職員間で連携し
ながら子ども達や保護者との対応・こ
な学校現場における全職員での対応・こ
連携のあり方を示唆するものであり、「報告
・連絡・相談」、職員間の良好な人間関係づ
かりの実践は子ども・保護者・職員にとり
安心・安全で豊かな教育の場となっている
ことを実感できるよい機会となりました。
返る機会となり、活用できる振り
立てなども学ぶことができました。

- 【式次第】 15:30～17:20
- | | | |
|---|--------|-----------|
| 1 | はじめの言葉 | |
| 2 | 講師紹介 | 教育課長 |
| 3 | 講演会 | 講師 福永かわり氏 |
| 4 | 質疑・応答 | |
| 5 | お礼のことば | 仲村先生 |

研修会感想(三校)

- 【伊平屋小】**
○「個に応じた細かな指導や支援」のポイントやヒントをたくさんいただきました。「あせらず」「じつくり」子どもの「不安」に耳を傾けていくことを心がけます。
○特別ではなく、全児童生徒が自信を持てるサポートをしていきます。
- 【野甫小中】**
○子どもの不安をできるだけ取り除き、安心して生活できる環境づくりをすることが一番だと感じました。学校での支援体制を徹底していくことの大切さ、必要性を強く感じました。
○全生徒に門戸を開き、困り感のある生徒や悩む保護者へのアプローチの「教育相談システム」は画期的でした。
- 【伊平屋中】**
○学校という組織のベクトルが、同じ方向を向いているところでは特別支援というくくりすらない状態がある。「報・連・相」、人間関係がうまくいっているのが上山中なのだろう。伊平屋島における小中連携のシステム作り、やっつけていきます。

質疑解答の時間には、特別支援
コ課題への質問として、
割課のネットワークを
時問隙に各層の共有と
要性的な情報共有の
相談室として活用する
活用する等々、小学校からの
談話に対しては、小学校
に在り方は、村内三校でも
いたるべきは、引き続き「あ
伊平屋村では引き継ぎな
保護者・地域・行政が連携
制の機能化&実施を進めて
氏は心になり感謝申し上げます。

